



2021年2月18日(木) 第312号

●発行所 「未来」編集委員会 〒577-0023 大阪府東大阪市荒本2丁目14-5 (06) 6781-3984

●発行人 山本 康

●第1・3木曜日発行 ●200円(本体186円) ●定期購読 購読料(送料別) 1月 400円(送料188円) 半年 2,400円(送料1,128円) 1年 4,800円(送料2,256円)

今号の主な内容

- コロナ禍から命と暮らしを守る 2
- 10年目を迎える福島から(下) 3
- ベーシックインカムを考える(第4回) 4
- この人に聞く 小野純一さん(上) 5
- 「ワクチン後進国」は汚名なのか 6

五輪組織委員長 女性差別発言

森辞任で終わらせない 声を上げる20代、30代

「森氏 引退してBCが拡散した#MeToo」し、談合と付度、どう喝

喜朗(東京五輪組織委員長)のこの女性差別発言による「#Donthesilent」



女性の声、思惑打ち砕く 性暴力撲滅を訴える「フラワーデモ」で森喜朗の女性差別発言に抗議(11日、名古屋市 写真提供=共同通信社)

森は、一貫して権力の中枢に君臨してきた人物。日本社会の男性優位主義や性差別主義というジェンダー・バイアスを全身で体現している。発言はそういう価値観と構造から発せられている。

大阪市廃止構想の否決後、松井・吉村らが打ち出した代案

①広域行政の一元化	大阪府を廃止したまま、市の権限・財源を府に移管するなど広域行政を一元化
②区の権限強化	
区の位置づけ	市の内部組織
区割り	現在の24区を8統合区に債権
区長の選び方	議会の同意を得て、市長が選任(特別職)
区長の権限	市長への予算提案権、職員任免権など
区議会	なし

大阪市乗っ取る「府市一体化」

広域行政「都構想の簡易版だ」

2月6日、大阪市内でクアクション。「海賊の骸骨」がドーンと真ん中

大阪府会は大坂維新の会が過半数を占め、大阪府会が維新と公明で過半数を占めています。大阪府会が今月、議題に上げられようとしています。

関生支部が逆転勝訴 「白バス」容疑の捜索は違法

大阪高裁

2015年「白バス」事件(弾圧(2面に解説)) 違法だったとして府側に11万円の賠償を命じた。

21春闘勝利の課題はなにかII コロナ禍から命と暮らしを守る

森川数馬

コロナ禍、地域・市民と共に

21春闘は、08年リーマンショックを上回る雇用破壊(解雇・雇止め、休業)、生活危機が襲いかかっているなかでの取組みとなっている。また、働き方「改革」―解雇の金銭解決など、労働法制や労働環境が激変している。まさに労働組合の出番である。

その最中、最大のナショナルセンター連合中

現在、そのうち半数が非正規雇用だ。コロナ関連の企業倒産は1万件、失業率は2万5千件の見込みだ。自殺者は、特に40才未満の女性が増え、7月から9月の例年比は2割から4割増である。女性の半数は非正規雇用で、コロナ禍のなかで勤務時間削減、休業、失業などを集中的に強いられる。休業者数の急増が著しい。昨年4月で597万人、このうち非正規雇用は300万人である。休業が非正規雇用労働者に犠牲を集中させた。さらに正規労働者にも広がっている。正規・非正規を超えた闘いの取り組みが求められている。まず、すぐそばにいる女性非正規雇用労働者の雇用と賃金を守るために闘おう。

大企業への強い規制を

グローバル大企業は459兆円もの内部留保をためている。「コロナ禍で苦しむ中小零細企業労働者、個人事業主の支援と生活補償費に回せ」「内部留保への法規制を」

年収200万円以下の「ワーキングプア」が非正規雇用を中心に



労働組合つづしの大弾圧を許すな!大阪府警本部前で元旦闘争(1月1日、大阪市内)

1200万人、全雇用労働者の23%を占めている。2018年の1年間で102万人増加している。昨年4月以降現金給付額が下がり続けている(毎月勤労統計調査)。

医療、保健、介護、物流、清掃、保育、教育部門などのエッセンシャルワーカーは、コロナ禍でも休業もできず、長時間労働と過重労働に悩んでいる。エッセンシャルワーカーへの特別の支援措置を要求しよう。行政改革の名で予算と人員を削減してきた問題がコロナ禍で浮き彫りとなった。賃金などの増額、有資格者の職場復帰支援の整備が求められている。

最低賃金1500円を

今年1月6日、米国の新大統領を決める選挙人投票の結果を認定する上、下院合同会議が開かれていた米国会議事堂に、大勢のトランプ支持者が乱入した。「米国の民主主義を踏みにじる最大の屈辱」と言われるこの事件を扇動したトランプ前大統領に、米国民の7500万人以上が大統領選挙で票を投じていた。敗れたとはいえこの得票は、過去最多だった08年のオバマ氏の6949万票を超えたのである。

国会を襲撃したのは極右思想に影響を受けた人

「最低賃金を春闘スローガンに。活動家の2年近い勾留など」が進行している。闘金1500円、その軸は、「最低生活保障・最低賃金時給1500円、8時間働いて生活できる賃金を」で要求とされている。昨悪で失業時の生活保障が弱体化し、そのために劣悪な労働環境に強いられる。非正規労働者に強いられる差別案件で5つの判決を出した。家族手当等

「最低賃金を春闘スローガンに。活動家の2年近い勾留など」が進行している。闘金1500円、その軸は、「最低生活保障・最低賃金時給1500円、8時間働いて生活できる賃金を」で要求とされている。昨悪で失業時の生活保障が弱体化し、そのために劣悪な労働環境に強いられる。非正規労働者に強いられる差別案件で5つの判決を出した。家族手当等

「最低賃金を春闘スローガンに。活動家の2年近い勾留など」が進行している。闘金1500円、その軸は、「最低生活保障・最低賃金時給1500円、8時間働いて生活できる賃金を」で要求とされている。昨悪で失業時の生活保障が弱体化し、そのために劣悪な労働環境に強いられる。非正規労働者に強いられる差別案件で5つの判決を出した。家族手当等

「最低賃金を春闘スローガンに。活動家の2年近い勾留など」が進行している。闘金1500円、その軸は、「最低生活保障・最低賃金時給1500円、8時間働いて生活できる賃金を」で要求とされている。昨悪で失業時の生活保障が弱体化し、そのために劣悪な労働環境に強いられる。非正規労働者に強いられる差別案件で5つの判決を出した。家族手当等

「解説」2015年「白バス事件」弾圧

14年9月、京丹後市で開かれた米軍Xバンドリーダー(ミサイル早期警戒システム)配備反対全国集会に参加するため用意されたマイクロバスで、大阪市内で乗車した参加者から、経費として1人3000円を集めたことを、大阪府警が「道運送法違反」をデッチあげた弾圧。翌年6月、市民運動の活動家3人を逮捕し(その後、不起訴釈放)、関西全域で20カ所を捜索した。関生支部は、問題となった集会にマイクパスを貸し出した請求が違法」とした。

「解説」2015年「白バス事件」弾圧

14年9月、京丹後市で開かれた米軍Xバンドリーダー(ミサイル早期警戒システム)配備反対全国集会に参加するため用意されたマイクロバスで、大阪市内で乗車した参加者から、経費として1人3000円を集めたことを、大阪府警が「道運送法違反」をデッチあげた弾圧。翌年6月、市民運動の活動家3人を逮捕し(その後、不起訴釈放)、関西全域で20カ所を捜索した。関生支部は、問題となった集会にマイクパスを貸し出した請求が違法」とした。

「解説」2015年「白バス事件」弾圧

14年9月、京丹後市で開かれた米軍Xバンドリーダー(ミサイル早期警戒システム)配備反対全国集会に参加するため用意されたマイクロバスで、大阪市内で乗車した参加者から、経費として1人3000円を集めたことを、大阪府警が「道運送法違反」をデッチあげた弾圧。翌年6月、市民運動の活動家3人を逮捕し(その後、不起訴釈放)、関西全域で20カ所を捜索した。関生支部は、問題となった集会にマイクパスを貸し出した請求が違法」とした。

焦点

米バイデン新政権と世界(中) ディープステートによる支配?

西田太一

「不正投票が」大統領選に介入した」と言われている。また「ベネズエラ」で選挙不正のために開発されたドミニオン投票システムは、カナダが開発されたものでベネズエラとは関係ない。それではどうして、このような

根も葉もないデマを多組んできた『新共産主義』の「良識ある米国民」が信じ込んでいるのだろうか。その理由のひとつとしてあげられるのが、「ディープステート」といわれる「闇の権力」が米国内政を操縦しているという陰謀論である。「ディープステート」はグローバル企業の利害を体現している。グローバリゼーションから恩恵を得ているという点で、彼らは中国と利害が一致している。4年前にトランプが大統領にならなければ、オバマ政権時代が隔絶し、内向きなものになり、内向きなものにしているのだ。(つづく)

10年目を迎える福島から(下) いわき市 伊東達也さん

「人と暮らしが戻るのが復興だ」

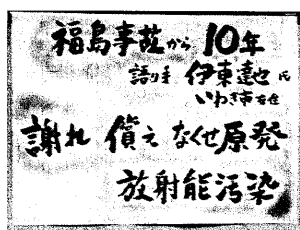
国と東電を断罪

県内滞在者を中心とした生業訴訟は、福島地裁いわき支部で不当判決だったが仙台高裁で勝った。全国最大、約3650人の原告団だ。初めて高裁が「国に責任がある」と認めた。被害者個別にはなく、地域ごとの一律の被害が認められ、被害者同士が分断されない判決をかちとった。

争点の一つは責任論。「事故の予測、予見ができたか」「予測できても、断層を研究してきた人た

対策をとることができたか」。国と東電は法廷で全否定した。いわき支部は「予知できたとしても切迫性はなかった」「重大な過失とまでは言いきれない」とし東電を免罪したが、高裁判決は「予測も対策もできた」と退けた。

「地震発生可能性の長期評価」の信頼性が争われた。26年目を迎える阪神淡路大震災の後、大きな問題となった。日本の地震学者に革新を迫った。多くの地震学者、活断層を研究してきた人た



ちが、「危ない」と愕然とした。以前から指摘してきた学説が証明されることになった。そういうところに大都市をつくってきた。

3・11以前、政財官マスコミも、日本では奇惨事故は起きないとしていた。国も、阪神淡路をきっかけに地震防災対策特別措置法をつくり、文科省に海溝型地震の発生可能性について調査委員会を設けた。巨大地震が原発を襲ったらどうなるか。大震災に加え、原発

3・11以前、政財官マスコミも、日本では奇惨事故は起きないとしていた。国も、阪神淡路をきっかけに地震防災対策特別措置法をつくり、文科省に海溝型地震の発生可能性について調査委員会を設けた。巨大地震が原発を襲ったらどうなるか。大震災に加え、原発

「風化進んでいる」55% 未曾有の被害をもたらしたことに、国と東電が法的責任を認めず、被害者の苦しみ、嘆き、想いにまともに向き合っていないと思われている福島県民は多い。トリチウム汚染水の海洋投棄に、多くの県民が不安を抱き、反対の声をあげている。20年10月の県民世論調査、

「震災、事故から10年。政府にも風化が進んでいると思いませんか」「進んでいる」は55.2%だった。

民主党政権のとき、はっきりした方針にはなかったが、「30年後には、原発のない社会」とした。その後の安倍政権は「原発なしで日本の発展はない。電力会社を苦しめてどうする」と、全部引っくり返した。その背景は「核兵器を持つための技術は捨てる」ということ。いま国、県

いわき市は、避難指示が出ているのは、福島イノベーションコースト、国際研究産業都市構想と訳している。浜通りに廃炉、ロボット、エネルギー、医療、航空

宇宙産業など、5千人の新しい町をつくる。アメリカの原爆開発後、放射能汚染したハンフォー

ド・サイトの「再生」を模したものだ。大規模土木工事も含み、巨額の予算が組まれている。惨事便乗型、いわゆるショック・ドクトリンのやり方だ。

人が戻ることには反対ではないが、腑に落ちない。故郷を奪われた人びとからは、自分たちが願う自然豊かで人びとが繋がる地域社会、生活がいっそう後回しにされるのではないか、という複雑な思いがある。10年目、「復興」は大きな曲がり角に差しかかっている。富岡、浪江、双葉高校も休校のま

ま。人が戻らなければ、本当の復興ではない。原発は「問答無用」ではなかった

大詰め 狭山第3次再審 裁判所の事実調べが鍵



1963年5月1日、埼玉県狭山市でおきた「女子高生誘拐殺人事件」の犯人として逮捕され、部落差別によって無期懲役囚となった石川一雄さんのえん罪を晴らすための第3次再審請求が大詰めを迎えるなか、狭山事件の再審を実現しよう市民のついでに関西が、1

み燃料の溶融が食い止められたのは、検査中に溜めていた水が偶然にプールに入ったから。もし、入らなかったら。第2原発の冷却水確保があと2時間遅れたら。東日本全体が避難することになった。政府が言う30〜40年で廃炉は、あり得ない。「私たちが最後に」と同じである。今年3月11日、被災地の檜葉町に「広島・長崎の火」が共通する非核の火として移され、灯される。核兵器も原発も、人類と共存できない。

1月、核兵器禁止条約が発効する。第2次大戦後の経費に、これまで10兆4千億円。これらはほぼ全部、電気料金などに上乗せされる。再稼働推進論者は、「もう今

殺人放火事件」の犯人とされた。石川一雄さん、石川早智子さん、袴田巖さん、袴田ひで子さんの間で再審無罪が確定した。青木さんはウソの自白の強要を繰り返させた。恵子さん、狭山再審弁護団の河村健夫弁護士が発言。石川さんは「今年こそ再審を実現する」と決意を明らかに。青木さんは、95年7月22日、大阪府住吉区の自宅の火事で、審判官の長女が死亡した。再審開始を実現するために「事実調べをおこなわなければならない」と強調した。



2011年6月に公開された東京電力福島第一原発4号機の内部を撮影した写真

は、東電と国の対応を厳

は、東電と国の対応を厳

は、東電と国の対応を厳

は、東電と国の対応を厳

は、東電と国の対応を厳

は、東電と国の対応を厳

は、東電と国の対応を厳

は、東電と国の対応を厳

〈論考〉ベーシックインカムを考える(第4回) 深田京二

労働市場から退出する

最後にベーシックインカムでも、月給20万円が16万(闘技場)で「労使双方カムにたいする、労働運円に引き下げられること動サイドの懐疑的な評価もあり得る。それどころについて検討したい。取か、「労働運動の課題でり上げるのは、今野晴貴ある労使の労働条件決定『ストライキ2.0』(集英社新書)である。家による給付政策があた

資産としてのジョブ

今野は、労働と所得を切り離すベーシックインカムが「労働問題を解決する」という期待は、場合によっては「非常に危険なものである」と言わざるを得ないという。EJ諸国などのような賃金や労働条件の客観的水準(産業別労働協約)が存在しない日本では、月4万円のベーシックインカムが支給されたとし

すでに完全雇用が破産して久しい今日において、すべての人が「労働市場」というアリーナ(闘技場)での決戦に挑まなければならないのだらうか。このアリーナではかなり過酷な戦いが求められることがしばしばあり、「解雇を撤回して、この職場に戻る」ことが本当によいことなのか」と思うような会社も多い。こうした場合では、経営者相手に頑張っている労働者のほうが病気になる



「20世紀型の労働運動」からおよそ50年が過ぎた。いま、時代はグローバルイズムとネオリベリズムが跋扈し、気候変動が続き、その上新型コロナウイルスが地球を覆い尽くそうとしている。コロナ禍は人間のゴーマンに対する「神」の罰なのだらうか。

「読者」の3冊の分厚い本。近年、立て続けに分厚い3冊の本が出た。一つは山崎博昭くんをめぐっている人びと、すなわちジョブを放棄している人びと(失業者)が、公正な分配を剥奪されるようなことがあってはならない。そうすることで人びとはやりたくもない労働から解放され、より有意義な活動にアクセスできるようになるのである。

「読者」の3冊の分厚い本。近年、立て続けに分厚い3冊の本が出た。一つは山崎博昭くんをめぐっている人びと、すなわちジョブを放棄している人びと(失業者)が、公正な分配を剥奪されるようなことがあってはならない。そうすることで人びとはやりたくもない労働から解放され、より有意義な活動にアクセスできるようになるのである。

「読者」の3冊の分厚い本。近年、立て続けに分厚い3冊の本が出た。一つは山崎博昭くんをめぐっている人びと、すなわちジョブを放棄している人びと(失業者)が、公正な分配を剥奪されるようなことがあってはならない。そうすることで人びとはやりたくもない労働から解放され、より有意義な活動にアクセスできるようになるのである。

「読者」の3冊の分厚い本。近年、立て続けに分厚い3冊の本が出た。一つは山崎博昭くんをめぐっている人びと、すなわちジョブを放棄している人びと(失業者)が、公正な分配を剥奪されるようなことがあってはならない。そうすることで人びとはやりたくもない労働から解放され、より有意義な活動にアクセスできるようになるのである。

「読者」の3冊の分厚い本。近年、立て続けに分厚い3冊の本が出た。一つは山崎博昭くんをめぐっている人びと、すなわちジョブを放棄している人びと(失業者)が、公正な分配を剥奪されるようなことがあってはならない。そうすることで人びとはやりたくもない労働から解放され、より有意義な活動にアクセスできるようになるのである。

「読者」の3冊の分厚い本。近年、立て続けに分厚い3冊の本が出た。一つは山崎博昭くんをめぐっている人びと、すなわちジョブを放棄している人びと(失業者)が、公正な分配を剥奪されるようなことがあってはならない。そうすることで人びとはやりたくもない労働から解放され、より有意義な活動にアクセスできるようになるのである。

読者の声

3冊の分厚い本

兵庫 石塚 健

「語り継ぐ1969 精谷孝幸追悼50年」の生と死。1969年からのメッセージ(19年)、三つは糟谷孝幸くんをめぐる『語り継ぐ1969』(19年)、三つは糟谷孝幸くんをめぐる『語り継ぐ1969』(19年)、三つは糟谷孝幸くんをめぐる『語り継ぐ1969』(19年)。

「10かつ10.8 羽田闘争があった」。1987年10月8日、ベトナム反戦デモでひとりの若者が死んだ。山崎博昭 18歳。

「追想にあらざる」。1969年からのメッセージ。時代を超えて、意志をつなぐ。

「追想にあらざる」。1969年からのメッセージ。時代を超えて、意志をつなぐ。

「追想にあらざる」。1969年からのメッセージ。時代を超えて、意志をつなぐ。

「追想にあらざる」。1969年からのメッセージ。時代を超えて、意志をつなぐ。

語り継ぐ1969
精谷孝幸追悼50年
—その生と死—
精谷孝幸50周年プロジェクト 編

10かつ10.8
羽田闘争があった
1987年10月8日、ベトナム反戦デモでひとりの若者が死んだ。山崎博昭 18歳。

追想にあらざる
1969年からのメッセージ
時代を超えて、意志をつなぐ。

この人に聞く

小野純一さん
(辺野古ぶるーHYOGO)

カヌーチームで沖縄に通う(上)

兵庫の仲間たちと、辺野古や安和にカヌーでの抗議行動に行っています。毎年何度かのツアーを組んでいますが昨年はコロナ禍のため難しく、行っていません。15年からは3月のみで、10月にはやむなく単独で行くようになります。10月5日、快晴。現地の仲間と合流し、「のれん分け」をお願いし、16年から「辺野古ぶるーHYOGO」というカヌーチームを始めました。カヌー未経験の人も講習を受けて参加し、いまは10人を超えるチームになっています。



安和桟橋での土砂搬入に海上で抗議活動をするカヌー隊 (2019年12月、名護市)

コロナのため単独に行く様子は悲しく苦しいです。ガット船がK8護岸に着岸するタイミングでオイルフェンスの隙間から入り、海保の分散をねらい、全艇がバラバラに護岸に向かう。残念ながら、3分の1も進まない間に拘束されてしまう。やはり護岸は遠い、無力さも感じます。

若い「海猿」と

若くは、そういうときいつも若い「海猿」くんたちと話をします。たいして純朴な青年たち。「ウチナー採用枠」もあるらしく、そのときの青年もウチナンチュ。沖縄のこと、海のことなど話し、海保のGB(ゴムボート)に移される際、「仕事だから仕方ないだろうけど、海を大切にね」と声をかけると、はっきりと「はい」という返事でした。

午後には風波が強くなりカヌーは中止、安和へ行きました。土砂を搬出している琉球セメント安和桟橋の出入り口で沖縄の人たちが、ダンプの出入りを遅らせるため、海保のGBに近づき警告され焦りながら、桟橋に固定されている台船との間に道路をゆっくり車を走らせ、ダンプが早く出入りできないようにします。そのとき警察官の態度がひどく、ちょっと軽率にスマホで録画しようとしたら、道交法違反の青切符を切られてしまいました。

安和桟橋

翌日は、安和桟橋にカヌー12艇が出ました。大型船は、周りにカヌーや小型船がいると危険なので出港できません。出港

641日もの長期拘留。89人に及ぶ逮捕者。組合活動を理由とした刑事事件としては戦後最大規模。「なぜ私たちは逮捕されることになったのか。この本を通じ私たちが関生支部の活動の本当の姿、そして『関生生コン事件』とよばれる現在の事態の真相を、一人でも多くの方々に知っていたければ幸いです」と武委員長は語る。

3月、伊方と東海で判決

「要注目だ」河合弁護士

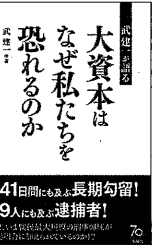
2月3日、広島地裁で伊方原発広島裁判新規模仮処分の第3回審尋期日の取り組みが行なわれた。広島地裁前で審尋参加者が記録撮影(写真左)をした後、午後2時から



河合弁護士は「昨年の伊方3号機運転差止を命じた広島高裁抗告審決定。12月に大飯原発3、4号機の原子炉設置許可取消の判決を出した大阪地裁の判決と『潮目が変わりつつある』と感じさせる2020年だった」と見解を示した。3月18日には伊方山口裁判の仮処分異議審の決定が、同日に東海第2原発運転差止訴訟の判決が水戸地裁で出る。河合弁護士は「勝つにしろ、負けるにしろ、要注目だ」と訴えた。次回審尋期日の5月13日に、住民側が四国電力への反論を提出する。(江田宏)

関生支部、武委員長が語る

『大資本はなぜ私たちが恐れるのか』



現し、未組織労働者も含めた労働環境の底上げを促す。未組織労働者も含めた労働環境の底上げを促す。未組織労働者も含めた労働環境の底上げを促す。未組織労働者も含めた労働環境の底上げを促す。

コロナ解雇を許さない 関西合同労組が旗開き

関西合同労働組合は「21春闘・旗開き」集会を開いた(1月24日、西宮市)。集会では「コロナ禍の労働相談を再開して、大橋直人さん(連帯ユニオンゼネラル支部書記長)が「本人に闘う意志があれば道が拓ける。そういう闘いをつないでいくことで、労働運動を再生させていくことができる」と話した。

生き残りの競争にさらされる。労働組合が、生コンの「安からう、悪からう」という状態を放置すれば、結果として労働者の生活と権利は守れない。生コン労働者を組織する関生支部と中小企業の経営者が手を結んで協同組合を結成し、大企業との交渉に当ることで、業界の健全化と生コン価格の適正化を図り、労働者の賃上げを実現した。ところが、協同組合の「相互扶助」の理念を忘れた一部幹部の私利私欲によって運営されてきた大阪広域協組は、生コン

トガシさんの「沖繩便り」④

遺骨眠る南部から土砂

1月から、今年も私のが、遺骨の埋まっている辺野古のたたかいが始まる場所を掘り土砂を運んでいきます。景観を壊しました。

コロナ禍、緊急事態宣言などの悪影響も出てく言下でも工事は自粛もなるといわれています。工事がストップ、キャンプシュワブームに運ぶとは、どうの米軍に感染者が出て、工事の再開はいつまでか。大浦湾の埋め立てには約3万5千坪のサンゴを移植する必要があります。1月22日、沖縄防衛局的抗議、安和棧橋出入口、塩川港も続けられています。以前、防衛局は辺野古側は市民の監視船が出ています。

今後の焦点の一つに、玉城知事の「大浦湾埋め立て工事の変更を許可しない」という判断があります。不許可なら、政府は裁判に。裁判は政府への付度裁判になりますから、早めに結論を求めるでしょう。

もう一つ、大浦湾を埋め立てるには膨大な量の土砂が必要です。それを県内で賄おうとするので、県民がどう反発するか。例えば、沖繩戦で多くの戦死者の遺骨が眠っている南部から、土砂を採取することです。糸満では熊野鉱山という会社

に、陸上自衛隊が離島防衛部隊の「水陸機動団」をキャンプシュワブ内に常駐させることを、米軍と極秘に合意していたという報道がありました。基地建設を強引にやっていた防衛省の意図は丸見えです。「普天間基地でやれない」ことを辺野古でやる。基地の移設ではなく、基地の機能強化を目指す新設です。米軍と一体となって利用するために、自然破壊をもとめず進めていく理由があります。

過去にないスピードで製造された新型コロナウイルスの大規模接種が始まりました。メデアは「ワクチンは感染拡大を予防し集団免疫を獲得してパンデミックを収束させる切り札」と日々刷りこんでくる。「日本はワクチン後進国」と焦りに満ちた非難も上がってきた。しかしワクチンが感染を防ぐと断言する専門家は誰もいない。「重症化を防ぐだろう、まだ実証されていないが、免疫の持続期間は未知、集団免疫獲得の保証はない」という話なのだ。命の危険もありうるアナ

ファイナシーショックの副反応もいち早く報じられた。「追跡できた人は全員回復したことだが、残りの人がどうなったのか？」の報道はない。○社のワクチンは××変異ウイルスには効かない命をみつめて見えてきたもの③

「ワクチン後進国」は汚名なのか

有野 まるこ

この新情報も出てきた。これらを「メリット」といふに「ワクチン後進国」は汚名だろうか。日本では「ワクチン不信が刷り込まれてきたから、技術はあっても、大規模接種は平時から莫大な税金を投入して周到に準備された、製薬

省のハードルは高いままで認可が遅い、と批判されている。かつて製薬等の大資本、行政、医療・医学会の癒着が深刻で大規模な薬害や食品汚染を生みだし、被害者たちは粘り強く闘いぬいた。私は、その成果の一つが認可のハードルであり、「ワクチン後進国」は闘いの誇りある証しだろうと感じてきたのだが。アメリカでは感染症パ

大手と共同のいわば軍事場の混乱と疲弊がさらに加速することも危惧される。

今浮き彫りになってい

るのは、政治による保健

医療体制の脆弱化。まさ

に政治禍だ。しかし全く

反省も改善策もなく、感

染症法・特別措置法に罰

則を導入した。必死に生

きんとする民に罪を着せ

るというのだ。現場から

の怒りの声はさらに燃え

広がっていくだろう。

(つづく)

伊ハント紹介

2月23日(火)

天皇誕生日祝賀反対! 2・23大阪集会

コロナ緊急事態法と天皇制

午後1時半~午後4時半

●エルおおさか南館101号室

講演: 冠木克彦(弁護士、「戦争法」違憲訴訟原告代理人)

デモ: 午後4時45分出発 JR大阪駅まで

主催: 参戦と天皇制に反対する連続行動

2月25日(木)

琉球遺骨返還請求訴訟・琉球人遺骨保管

住民監査請求支援集会

午後6時

●響都ホール(京都駅八条口アバンティ9階)

主催: 琉球遺骨返還請求訴訟支援全国連絡会

2月27日(土)

ルネサンス研究所・関西2月公開研究会

世界強国、中国はどこへむかうか

午後3時~午後5時半

●キャンパスプラザ京都・第3講義室

(JR京都駅北側すぐ)

講師: 加々美光行(愛知大学名誉教授)

主催: ルネサンス研究所・関西

訂正とおわび

本紙前号1面上の「衆院予算委で与野党の理事に詰

め寄られる金田勝平委員長の写真で、「写真提供: 時事

のクレジットが脱落していました。同5面「伊方連船差

止訴訟」記事で「記念撮影」は「記録撮影」の誤りでした。

訂正しておわびします。

コロナで大変な状況が続く中、人びとは生活上も精神的にも大きなストレスをかかえている。元気が出るニュースで乗り切る力にと、ローカル長崎の朗報を届けたい。

1月29日、春の全国センバツ高校野球選手権に出場する32校が決定し、長崎は大崎高校が決まった。高校の所在地は県西部離島の西海市大島。人口5千人の小さな町の高校だ。1952年開校で、男女共学。全校生徒数は113人。野球部は1960年創部で、現在の1、2年生の部員29人。

県立大崎高校、初甲子園へ

協田和也 (非正規雇用労働者)

も17年。今の3年生20人が入部し、合宿生活を送りながら「ゼロ」からのチーム再生が始まった。清水監督の言葉、「みな覚悟をもってあつまれ」の覚悟の塊。こつこつと

つと激しく、地域にも応援されて……。島民の応援が後押しになったチームづくり。19年秋には58(2年)を軸にした堅守年ぶりに県大会を制し、で、甲子園でも「離島旋風」の期待が高まる。最速139キロの坂本は

今頃は、甲子園での勝利を目指して猛練習に打ち込んでいる姿が目につ

かぶ。最近のセンバツでは離島高校の苦戦が続

く、14年大島(鹿児島)や16年小豆島(香川)な

どが初戦敗退。大崎はこ

の壁を必ず突破するだろ

う。「島の大崎」、「無名

の大崎」の活躍を期待し

たい。「未来」読者の皆

さん、是非とも応援を。